



# お ち ほ

第 14 号

1987年9月23日発行

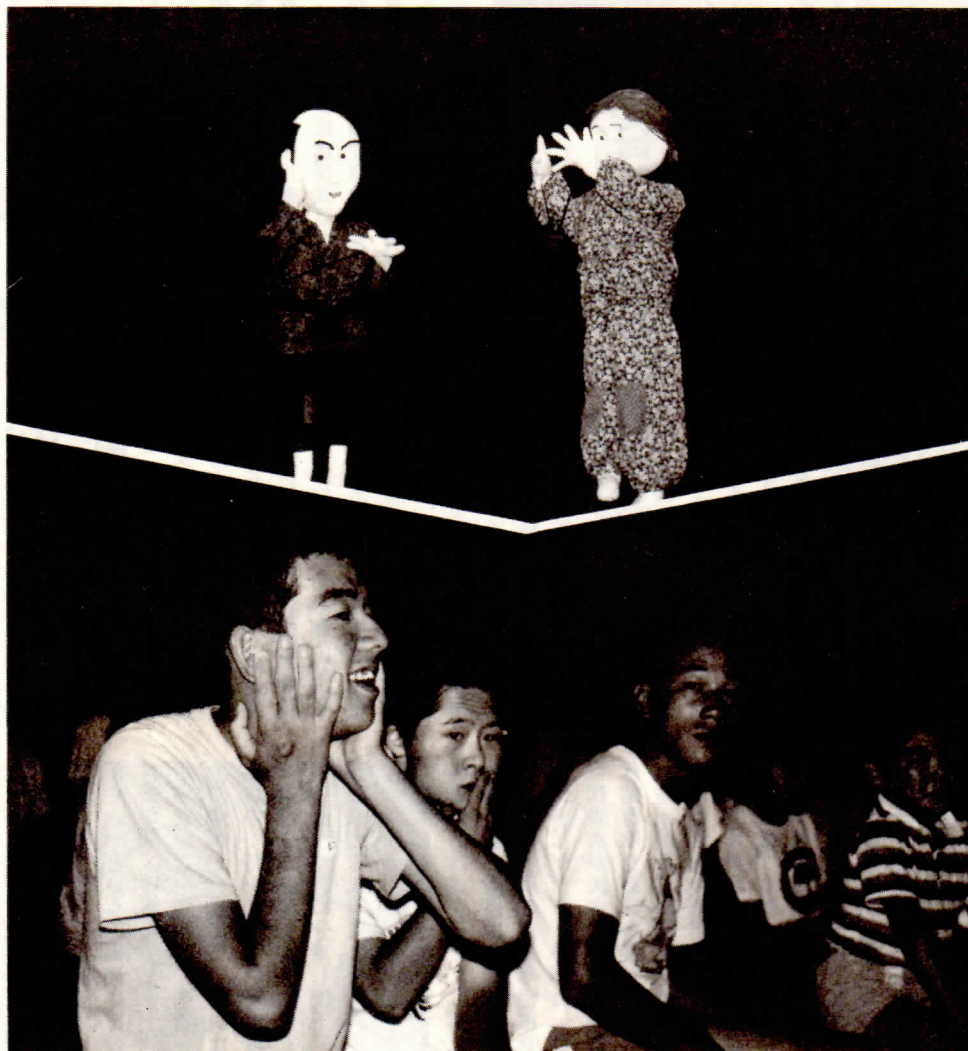
社会福祉法人 椎の木会

落穂寮

発行者 増田正司

## 星に願いを

### 七夕祭



七月四日、一足早い七夕祭が寮内で行なわれました。毎年「七夕フェスティバル」と銘打って行なわれているこの行事、新任職員のお披露目の場となっています。ここ数年出し物は演劇が続いているので、さながら「七夕演劇祭」の趣が強くなって来ました。

今回の出し物は人形劇『尻っこき姉さが嫁に来て。』新人西村先生の短大時代の豊富な経験を生かしての本格的な人形劇となりました。

七夕様への願いがかなって若者の元へやって来たお嫁さん、実はものすごく大きなおならをするのです。このお嫁さんがおならで巻き起こす珍騒動を若さあふれる新人たちが元氣一杯に演じました。劇後にはクマのマークくん、ブタのプー子というスペシャルゲストも登場し、皆で歌ったり踊ったり、楽しい七夕の夜を過ごしました。劇中、若者とお嫁さんは七夕のお星さまに二人の幸せを祈ります。七夕の夜、寮のみんなはいったい何をお祈りしたのでしょうか。



# 藍綬褒章伝達式に出席して

落穂寮長 増田正司

## 褒賞の記

増田正司

多年精神薄弱児施設の長として児童の保護に努め児童福祉の増進に寄与した  
まことに公衆の利益を興し成績著明であるよって褒賞条例により藍綬褒賞を賜ってその善行を表彰せられた

昭和六十二年四月二十九日  
内閣総理大臣 仲曾根康弘  
総理府賞勲局長 海老原謙彦

## 選奨状

増田正司殿

あなたは多年にわたり社会福祉の向上に尽力つれすぐれた業績をあげられました  
ここにその業績をたたえ金一封を贈呈して選奨します

昭和六十二年四月二十九日  
社会福祉法人恩賜財団  
慶福育児会

総裁 竹田光子

去る 5 月 27 日、厚生省講堂で「褒賞伝達式」が挙行されました。同時に右の「選奨状」が同会議室で行われました。

「受章者に決定されたので、ご夫妻で出席されるように」との厚生大臣名の案内状をいただき、家内同伴で式典ならびに選奨式に参列し、重ね重ねの受章の榮譽に浴することができ、今なお感謝と感激の日々を過ごしています。  
冒頭に掲げた「褒賞の記」と褒章をいただき、また別に、「選奨状」と金一封をいただきました。

## 喜びに身体が熱くなる思い

当日、全国の社会福祉関係、社会衛生関係、社会保健関係の各分野から選ばれた 13 名の黄綬褒章受章者と 56 名の藍綬褒章受章者と同伴の奥さんや付添者が列席し、伝達をうけましたが、事務次官、年金局長、官房長、人事課長がモニタリングの礼装で付添い、同じくモニタリングの礼装の厚生大臣が受章者一人ひとりの席に回われ、それぞれの「褒賞の記」を黙読のうえ褒章とともに手渡されました。同伴の

あなたがたは、まだ老いていないのです。もっともっと働いて施設の入所者を喜ばせてください」という理事長さんの言葉が強く印象に残りました。  
昼食をご一緒して、糸賀先生の懐かしい話がで、愉快な歓談の一時をくつろいだ気分でごすことができました。  
午後はバスに分乗し坂下門から皇居に入りました。各省庁の受章者が新宮殿の豊明殿に整列して拝謁をお待ちするうちに  
陛下が、侍従のご先導で、ゆっくり正面のお立ち台に立たれました。  
代表者が大きな声でお礼の言葉を申しあげ  
陛下から、お祝いと励ましの言葉をいただきました。  
お年ですがお元氣にお見受けしました。  
ちょうど正面中央辺に整列していたので、ご様子を拝することができました。  
退出後、宮殿を背に記念写真の撮影があり、つづいて皇居内の特別参観に案内されました。東京にいた子どもの頃、皇居をお慕越しに、俗にメガネ橋(石の橋)の奥の鉄の橋をあおぎ見たことがありました  
が、今その橋を渡りながら感

無量でした。夢心地で渡りました。  
皇居の中は、想像していたより質素に感じました。日本の伝統と現代(近代)とを調和させ独特の味合いの美しさをだそうとしているのでしょうか。制約された時間内の参観で十分たんのうでできませんでしたが、これで自分も日本人の一人になったような思いで参観を終りました。  
厚生省で解散して、緊張の長い一日が終わりました。  
格別の業績があったんだろうかと振り返って考えてみますが、一向にそれらしいものはありません。まことに思ったくないご沙汰です。関係の人たちのご推挙をいただいて上げてくださったのでしようが、あいすまんことだと思えます。しかしながら、自分が願ってもかなわぬ重ね重ねの名譽に浴することができ、ただただ感謝と感激のほかありません。  
姉妹のひとりが「親が生きてもいたらとても喜んだらうね」といいました。  
永年世話になった落穂寮ですから、慶福育児会からいただいた選奨金は、そのまま寄付しました。(62・6・18)



# よむく ニューフェイス 新任職員 紹介

## 従兄の思い出

高橋 裕幸

こちらに来て、二ヶ月が過ぎようとしています。仕事に慣れたというより、気持ちの中に慣れがはじまり、もう一度、初心にかえって子供達と接していこうと思ひ直してるところです。

私自身を紹介するというと何やら気恥ずかしくもあり、折にふれて話した事もありませんから、ここでは、自分のような軽薄な人間が、このような仕事にどうも思ひつた動機について触れたいと思ひます。私の場合、従兄に障害者があり、幼い頃に、身近に接することができたことが大きく影響していると思ひます。彼は、確か、私が小学校へ入学して間もなく亡くなりましたが、彼との思い出の中で大変強く憶えていることは、とにかく必死に自分の気持ち、思

いを伝えようとしていたことです。その方法は確かに、人の頭の毛をつかんだり、言葉にならぬ声を上げたりするものでしたが、それが私にはどうしても理解できなかったのに、母である叔母には良くわかるようでした。その時、私は、不思議でありませんでした。その気持ちがある意味では、こういう仕事を選ぶきっかけになつていっているように今さらにも思ひます。

未熟者ゆえ御迷惑を多々、おかけすると思ひますが今後ともよろしく御指導下さい。

## のん気、根気、元気で

永原 千草

毎朝の掃除・マラソンから落穂寮の新しい一日が始まります。今日も子供たちは生き生きと輝いています。この子どもたちと同じ朝を迎えてはや二ヶ月が過ぎました。

私は山口県下関市の出身で二年前の春、実家を離れ京都の華頂短期大学に学び、卒業後、自然に恵まれたこの落穂寮に保母としてやって来ました。

今、私の目の前にいる子どもたちは、顔の表情で、身体を使って、何かを訴え、一杯の意思表示をしています。そのサインに気付かなかつた

り、わからなかつたりする度に、自分の未熟さを戒めると同時に、自分の無能力さを痛感しています。しかし子どもたちとの生活にやはり楽しく、ここでこうして生活していることの素晴らしさ、子どもたちと共に感じるこの喜びは、私にとって大きな励みとなっています。「指導不可能な子どもはいない。いるのは指導できない指導者がいるだけだ。」という言葉を聞いた事があります。子どもが変わらない、という前に自分の指導をふり返り、子どもの成長を見届けたいと思ひています。そして私も、保母として一歩ステップを踏み、のん気、根気、元気で、子どもたちと一緒に頑張っていきたいと思ひています。

仕事を始めて二ヶ月。毎日楽しみながら仕事をしていきます。

## 自分なりに

西村日出子

さて、私の現在に至るまでの経過はと申しますと、地元の高校卒業後、京都の華頂短期大学へ入学。そこで児童劇部というクラブをメインに活動する。かたわら落語研究会にも入部させられ、有意義な二年間を過ごしました。そして、縁あって今年の四月より落穂寮へお世話になっております。

ここで生まれて初めて、先生と呼ばれ、五人の子供達の担任となりました。最初の頃は彼らの障害の程度を気にしながら接してきましたが、今はまず彼らと友達になろうと思ひています。そう思ひて付き合うとなかなか愉快な子供達ばかりで、また、それぞれ発見も多いです。しかし、そんな中でもけじめは忘れないうちがけていっているつもりです。ところがこれが一番難し

く、いつも迷つたり失敗したりの連続です。まだ二ヶ月しかたつていませんが、いろいろな事がありました。これからはもっと大変だと思ひます。けれども中学の頃から希望していた仕事ですから中途半端にならない様、諸先生方の良いところをたくさん吸収しながら自分なりに考えて動いていきたいと思ひています。どうぞよろしくお願い致します。

こわかつたかな

## 肝だめし

8月8日土曜日、皆が帰省を楽しみにしているその前日納涼祭、ちよつと早い地蔵盆そして夜には肝だめしが行なわれました。

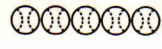
昼の部、納涼祭では昨年同様各種出店が出て子どもたちは大喜び。かき氷、綿菓子、とうもろこし、ヨーヨー釣り、輪投げ。始まるにつれ、かき氷屋さんの前には長蛇の列。それもそのはず、当日はこれぞ真夏の太陽といった日差しが運動場をジリジリと焼きつけていたのですから。子どもたちは思い思いのシロップをかけてもらったかき氷を軽く平らげて、次はとうもろこし屋さんへ。残念ながら綿菓子

屋さんは機械の調子が悪くてあえなく店閉。ヨーヨー釣みや輪投げ屋さんでは子どもよりも真剣になっている大人の姿も。そういうのは今年の輪投げの景品はなかなか良いものが揃つていたなあ。夜は地蔵盆で皆の健康をお祈りして肝だめしへ。寮内に決められたコースには、行事委員や若手男子職員の扮するお化けが勢揃い。特別に作られた効果音の中をクラスごとに歩きまわした。驚いて泣き出す子、ポーツとしての子、お化けに向かつて行く子と反応は千差万別。でも一番怖かつたのは顔を真っ白に塗つた高橋先生の「まっ白男」じゃないかしら。



# この夏の挑戦

## 滋児協体育大会・ソフトボールに初出場



毎年恒例の滋児協(滋賀県児童福祉施設協議会)体育大会が今年も7月23日(木)に行なわれました。今年は何年とはうってかわり、開催地も土山町から地元、石部の両山運動公園で行なわれることになり、「それではこの際、全員で参加しよう」ということで、ソフトボールとウォークラリー、それに「応援」に参加することになりました。我が落穂寮は毎年キックベースボールの部に参加、一昨年優勝と、なかなか優秀な成績を残していましたが、今年は一ランク上を目指そうとソフトボールに挑戦することになりました。

六月の半ばからキャッチボールを中心に練習を始めてこの日まで、なんとか守備の体裁は整って来たというところ、攻撃面はまだまだだし、決して十分な練習が出来ているわけではありません。

惜しかった初回の拙守  
まず初戦、力こそさほどないもののソフトボール慣れしているチビッコ達、守山学園が対戦相手です。初回、先攻の守山学園にこちらの立ち上がり攻められ8点、続いて三回にも6点を献上してしまいました。一方こちらも二回、大橋先生のソロホームランを

口火として穴山君のホームランも飛び出し、五回までに8点を奪いました。しかしこの反撃も及ばず、結局試合は8対15で負けてしまいました。初回の8点を奪われていなかったらと初戦ながら少々悔いの残る試合でした。

続いて第二試合は敗者復活戦、相手は藤美寮チーム。落穂出身者の顔もちらほら見える戦いにくい相手です。先攻藤美寮は職員の強力なバッティングでいきなり3点を先取。一方一回裏、落穂寮も5点を返し逆転しましたが、二回再び3点を入れられ、終始うちが追う形、苦しい展開となりました。

最終回もピッチャー吉池君がよく踏んばり藤美寮の反撃を一点におさえ、12-11で記念すべき初勝利を飾りました。続く敗者復活戦第二試合、淡海学園の女の子たちとの試合です。今大会初めての落穂寮先攻となったこの試合、三回まで0行進が続きます。しかし四回裏、疲れが出たのか落穂寮チームは守備の乱れもあって5点を取られてしまい、結局3-7で敗れてしまいました。

奇跡の大逆転で初勝利  
四回表を終わり、試合は6-10で藤美寮優勢のまま。四回裏も一点は返したものの早くもツアアウトランナー無し。ところが次打者穴山君に今日日本目のホームランが飛び出したからさあ大変。そこから奇跡の6連続ヒットが出て試合を12-10と逆転しました。

あきらめずに  
当日は午前中から猛暑とも言える暑さの中、木蔭一つない焼けつくようなグラウンドで試合をするのは、子どもも職員もかなりしんどいものがありました。

率いて来た監督の本田先生は「短い練習期間だったが、かなり上達した。同じレベルのチームがいたので運良く一勝することが出来た。来年はもっと攻撃型の練習をして行かなければならないと思う。大切なことは落穂寮の子どもたち合った練習方法で、一人一人の職員が諦めずに子どもを引っばってやることだ。」と語っていました。

さてこうして皆が真黒に(中には「真赤に」)日焼けして終わった滋児協体育大会。ソフトボールチームは貴重な初勝利をバネに、来年は是非とも二勝はして欲しいものです。「……そうすると、四つ勝つと優勝出来るのだから、三年後には優勝だあ」と甘い計算をするのは私だけでしょうか。

出た！ホームラン  
ソフトボールに慣れたから、三年後には優勝だあ」と甘い計算をするのは私だけでしょうか。



まずは1勝だ

奇跡の大逆転で初勝利  
四回表を終わり、試合は6-10で藤美寮優勢のまま。四回裏も一点は返したものの早くもツアアウトランナー無し。ところが次打者穴山君に今日日本目のホームランが飛び出したからさあ大変。そこから奇跡の6連続ヒットが出て試合を12-10と逆転しました。



出た！ホームラン

率いて来た監督の本田先生は「短い練習期間だったが、かなり上達した。同じレベルのチームがいたので運良く一勝することが出来た。来年はもっと攻撃型の練習をして行かなければならないと思う。大切なことは落穂寮の子どもたち合った練習方法で、一人一人の職員が諦めずに子どもを引っばってやることだ。」と語っていました。



# みんな海の子

## — 臨海学舎レポート —



沢山の残留者を出した去年の臨海学舎の悪夢を振り切るかの如く、子どもたちの歓声を乗せたバスは一路日本海の碧い海目指して出発しました。今年の臨海学舎は7月27日から三日間、福井県小浜市田烏、谷及の浜で行なわれました。今回は初日からずっと好天が続き、子どもたちは夏の海を満喫した様子でした。さて一日目は午後から水泳を開始。今年はいつも使っている水泳場の端の海中に大きな穴

が掘られてしまっていたため、残念ながらいつもより狭い水泳場となりました。泳ぐ気分はまた格別。皆で譲り合いながら水泳の練習に励みました。

さて一日目の夜は普段寮では口にするここのないような魚貝類に舌鼓を打ち、夕食後は各棟毎に海辺へ出て花火大会。星の輝く澄んだ空へ上げた打ち上げ花火の数を数えたり、ロケット花火の行方を追ったり。闇の向こうに一筋の光が見え



るとそこから他の棟の子どもたちの歓声が響いて来るのでした。

翌、二日目は午後の水泳の合間にスイカ割り大会が開かれました。各棟から代表が出てスイカ割りに挑戦。結局誰も割ることが出来なくて残

念無念。それじゃあと最後は佐藤先生がボンと割りました。その夜は一昨年好評だった浜辺での映画会をもう一度ということでまたもや浜辺に大きなスクリーンを打ち立てました。上映したのは「男はつらいよ—寅次郎柴又慕情—」。最後まで面白く観ているのは大人ばかり。A棟のおチビさんたちには昼間の疲れもあってちょっと眠たかったかな。



三日目、今日が最後とばかりに皆張り切って泳ぎました。昨日テトラポットまでの遠泳を行なった子は再び挑戦。ただ一人C棟からは西野さんがテトラポットまで泳ぎきりました。

こうして三日間の臨海学舎を終えたわけですが、今回は残留者も少なく、現地での熱発者もなく、また天気にも恵まれ非常に有意義な臨海学舎

であったと思います。今回も三雲養護学校の先生方、ボランティアの学生さんと大きな力添えを得ました。無事に終

### ブロッコウ展

#### を知っていますか？

あまり知っている人はいないかもしれませんが、毎年ブロック展なるものが行なわれています。と言っても今年で三回目、7月22日から26日まで、大津市立図書館で行なわれました。このブロッコウ展、元はと言えば本田先生が昭和44年頃に行なった写真展に端を発しています。それが一昨年より子どもの絵画の作品展として復活したものです。使い捨てられたものをよみがえ



えることが出来た事の陰に、これらの人達の協力があったことを忘れてはならないでしょう。

あまりに整っているとブロッコウ展らしくないということでしょう。ともあれブロッコウとは「かたまりの力」、子ども達のちっぽけな絵もこうして一堂に会するとなかなか見事なものです。「こういう活動を通して地元滋賀の人達にこの子らについての理解を広めたい」という主催者の本田先生。今まではあまり宣伝もありませんでしたが、来年は皆さんこそ行って下さいね。

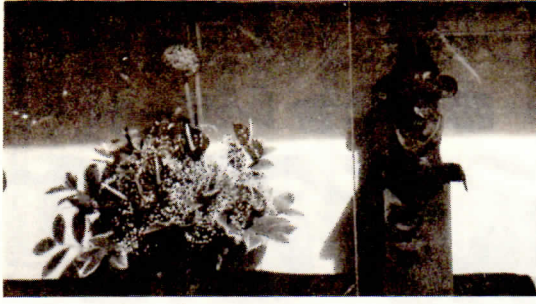


# 第 8 回 東京 作品展 を 終 えて

今年も 6 月 3 日から 7 日まで落穂寮の年度作品の作品展が東京銀座の明治画廊で行われました。この「東京展」今回で八回目を迎えたわけですが、今年度の作品展について指導担当である池谷先生に色々聞いてみました。

— 今年度の作品展で特に目新しいことは

「昨年からですが翠光流家元の生け花をお面や土偶といった寮生の作品に飾るという合



同展を今年も行いました。題して『お面と土偶と花の心』というものです」

— 会場には今年もビデオを設置されたそうですが

「従来からお客さんの中に作品の創作過程を知りたいという方が少なからずおられます。そこでそれらの便宜をはかるためにビデオを見て頂いています。こちらも説明し易いので、まさに『百聞は一見に如ず』ということでしょう」

— 客層としてはどんな方がお見えになりますか

「例年来られる方と、それら

— 例年来られる方と、それら

## 同窓会開かれる

増田先生の藍綬褒章受章を祝して、今年も主に旧職員を中心とした同窓会が開かれました。時は 6 月 28 日、所はかつて落穂寮が生まれ育った地、大津市南郷の二葉屋で行なわれました。南郷で行なわれたこともあってか、参加者のほとんどが南郷時代の職員でした。当時、二十四時間勤務と

の人の口伝えで新しく来られる方と徐々に拮がりつつあります。画家や専門家の方も見られますし、また一昨年より会期を 6 月にしたので学生と教員の方も増えていきます」

— 作品に対する反応は

「かなり厳しく作品を鑑賞されています。ですからいい加減な作品は出来ません。つまりこれは職員の指導の姿勢が評価されるということでしょうか」として、いい勉強の場となります」

— それでは今後の展望を

「今回の作品展でもそうです

— 今回の作品展でもそうです

## 懐かしの南郷で

いう実に厳しい条件の中で文字通り寝食を共に、苦菜を共にした仲間たちが会し、時を忘れて思い出話に花を咲かせました。「かつて青春時代を落穂で過ごし、すでに十数年を過ぎてお互いに大人となっているが、会えばお互いに変わらない。当時、とてもしんどい思いをしたけれども、そ

が、子どもたちの作品は生け花の家元の花と立派に太刀打ち出来る力を持っています。ということは表現の世界では社会での存在価値を得ていると言えるのではないのでしょうか。今後この子らの表現の世界での個性を殺さずに引き出し、社会の中での存在感を高めていけたら、と思います」

11 月には名古屋の画廊での展覧会も予定されています。皆さん是非足を御運び願えたいと思います。

— 11 月には名古屋の画廊での展覧会も予定されています。皆さん是非足を御運び願えたいと思います。

— 11 月には名古屋の画廊での展覧会も予定されています。皆さん是非足を御運び願えたいと思います。

— 11 月には名古屋の画廊での展覧会も予定されています。皆さん是非足を御運び願えたいと思います。

— 11 月には名古屋の画廊での展覧会も予定されています。皆さん是非足を御運び願えたいと思います。

— 11 月には名古屋の画廊での展覧会も予定されています。皆さん是非足を御運び願えたいと思います。

— 11 月には名古屋の画廊での展覧会も予定されています。皆さん是非足を御運び願えたいと思います。

— 11 月には名古屋の画廊での展覧会も予定されています。皆さん是非足を御運び願えたいと思います。

— 11 月には名古屋の画廊での展覧会も予定されています。皆さん是非足を御運び願えたいと思います。

— 11 月には名古屋の画廊での展覧会も予定されています。皆さん是非足を御運び願えたいと思います。

— 11 月には名古屋の画廊での展覧会も予定されています。皆さん是非足を御運び願えたいと思います。

— 11 月には名古屋の画廊での展覧会も予定されています。皆さん是非足を御運び願えたいと思います。



## 泉

真夏の太陽が照りつける中

甲子園での歓声がすぐ真近に聞こえたのもつい此の間のこと。まだまだ残る夏の暑さもそろそろ秋の装いへと衣替えしている様子です。落穂の夏の甲子園、滋児協体育大会や臨海学舎を終え、夏休みを経て寮内にはまた子ども達の明るい声が響いています。

— 甲子園での歓声がすぐ真近に聞こえたのもつい此の間のこと。まだまだ残る夏の暑さもそろそろ秋の装いへと衣替えしている様子です。落穂の夏の甲子園、滋児協体育大会や臨海学舎を終え、夏休みを経て寮内にはまた子ども達の明るい声が響いています。

— 甲子園での歓声がすぐ真近に聞こえたのもつい此の間のこと。まだまだ残る夏の暑さもそろそろ秋の装いへと衣替えしている様子です。落穂の夏の甲子園、滋児協体育大会や臨海学舎を終え、夏休みを経て寮内にはまた子ども達の明るい声が響いています。

— 甲子園での歓声がすぐ真近に聞こえたのもつい此の間のこと。まだまだ残る夏の暑さもそろそろ秋の装いへと衣替えしている様子です。落穂の夏の甲子園、滋児協体育大会や臨海学舎を終え、夏休みを経て寮内にはまた子ども達の明るい声が響いています。

— 甲子園での歓声がすぐ真近に聞こえたのもつい此の間のこと。まだまだ残る夏の暑さもそろそろ秋の装いへと衣替えしている様子です。落穂の夏の甲子園、滋児協体育大会や臨海学舎を終え、夏休みを経て寮内にはまた子ども達の明るい声が響いています。

— 甲子園での歓声がすぐ真近に聞こえたのもつい此の間のこと。まだまだ残る夏の暑さもそろそろ秋の装いへと衣替えしている様子です。落穂の夏の甲子園、滋児協体育大会や臨海学舎を終え、夏休みを経て寮内にはまた子ども達の明るい声が響いています。

— 甲子園での歓声がすぐ真近に聞こえたのもつい此の間のこと。まだまだ残る夏の暑さもそろそろ秋の装いへと衣替えしている様子です。落穂の夏の甲子園、滋児協体育大会や臨海学舎を終え、夏休みを経て寮内にはまた子ども達の明るい声が響いています。

— 甲子園での歓声がすぐ真近に聞こえたのもつい此の間のこと。まだまだ残る夏の暑さもそろそろ秋の装いへと衣替えしている様子です。落穂の夏の甲子園、滋児協体育大会や臨海学舎を終え、夏休みを経て寮内にはまた子ども達の明るい声が響いています。

— 甲子園での歓声がすぐ真近に聞こえたのもつい此の間のこと。まだまだ残る夏の暑さもそろそろ秋の装いへと衣替えしている様子です。落穂の夏の甲子園、滋児協体育大会や臨海学舎を終え、夏休みを経て寮内にはまた子ども達の明るい声が響いています。

— 甲子園での歓声がすぐ真近に聞こえたのもつい此の間のこと。まだまだ残る夏の暑さもそろそろ秋の装いへと衣替えしている様子です。落穂の夏の甲子園、滋児協体育大会や臨海学舎を終え、夏休みを経て寮内にはまた子ども達の明るい声が響いています。

— 甲子園での歓声がすぐ真近に聞こえたのもつい此の間のこと。まだまだ残る夏の暑さもそろそろ秋の装いへと衣替えしている様子です。落穂の夏の甲子園、滋児協体育大会や臨海学舎を終え、夏休みを経て寮内にはまた子ども達の明るい声が響いています。